第８期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画　進捗評価表　（計画期間：令和３年度から令和５年度）

１　計画の評価方法

市では、本計画に基づく各種の施策やその効果について、本計画に沿って十分に達成されているかどうか、別紙「進捗評価表」により半期ごとに評価を行っています。

具体的には、主な施策について指標及びそれに対する目標値を設定し、第一に、この指標における目標値を達成しているかどうかを評価にあたっては確認します。

しかし、各施策においては、指標以外の事柄も重要であることに加え、設定した指標のみで評価することになると、指標以外の取組が十分に鑑みられない可能性もあることから、指標以外にも考慮すべき取組などがある場合は、設定した指標の達成度合いを踏まえつつ、それら指標以外の取組も適宜勘案して評価を行っています。

半期ごとに進捗評価を行い、その都度、その内容を所沢市高齢者福祉計画推進会議において報告し、委員の御意見等を踏まえ、改善につなげていくものです。

なお、指標の設定に当たっては、施策の指標を数値で確認でき、その達成度合いを明確に測ることができるものを用いています。

２　計画書における各種施策と評価指標

計画書における各種施策		計画書該当頁	指標設定		SDGsについて
			該当有無	設定数	
各論１	**自立した生活を継続するための取組の推進**	51-74	○	12	ＳＤＧｓとは、平成27（2015）年の「国連持続可能な開発サミット」で採択された、令和12年までに達成を目指す世界共通目標です。17の目標と169のターゲットからなり、経済・社会・環境を調和させながら「誰一人取り残さない社会」を目指すものです。 本計画においても、17の目標のうち、主に「3. すべての人に健康と福祉を」、「11. 住み続けられるまちづくりを」、「16. 平和と公正をすべての人に」、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」等の目標を踏まえ、施策を実施していくため、本計画の進展によりこれらの目標へ貢献していきます。
	介護予防・健康づくりの取組	55-67	○	9	
	いきがいづくり・社会参加の促進	68-74	○	3	
各論２	**住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるための取組の推進**	75-118	○	5	
	在宅で安心して暮らし続けるための取組	79-87	○	1	
	認知症と共生する社会の実現に向けた取組の推進	88-95	○	2	
	在宅医療・介護連携の推進	96-100	○	2	
	介護者の負担軽減	101-105			
	状態に応じた住まいや施設の整備	106-115			
	高齢者関連施策の実施による住みよいまちづくり	116-118			
各論３	**地域の課題を解決するための体制づくり**	119-132	○	2	
	地域課題・資源の把握、解決策の検討	123-127	○	2	
	担い手の養成と地域資源の開発	128-129			
	地域の支え合い活動の促進	130-132			
各論４	**介護保険制度の安定的な運営**	133-166	○	5	

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
1	介護予防・健康づくりの取組（介護予防の普及啓発）	57	＜介護予防の普及啓発の目標　その1＞	現在、健康づくりや介護予防のために、運動や趣味の習い事をしている人の割合	66%	61.5%	アンケートを対象者30,701人へ送付し、回答者17,686人分に基づき集計を実施した。 回答者のうち、評価項目該当者数10,871人 ※アンケート対象者：70歳以上の偶数年齢で、要支援・要介護認定を受けていない方	△	新型コロナウイルス感染症の影響下においても介護予防に取り組んでいただくため、アンケートへ理学療法士監修の「自宅でできる体操」やフレイル予防に関するチラシを同封した。また、健康の維持、閉じこもり防止、社会参加につなげることを目的として活動している「お達者倶楽部」の紹介チラシを同封した。 地域包括支援センター主催の介護予防教室では、新たに高齢者向けのスマホ・パソコン教室を18回開催した。自宅に居ながらも人と繋がり、社会参加ができるよう、引き続き広げていきたい取組である。 目標未達成となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響下ならではの工夫も盛り込み、参加者や社会情勢のニーズに即した普及啓発に努めた。
		57	＜介護予防の普及啓発の目標　その2＞	介護予防教室等に参加した人数	2,100人	1,766人	（内訳） ・介護予防教室（地域包括支援センター分）1,504人 ・いきいき健康体操教室262人		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
2	介護予防・健康づくりの取組（住民主体の介護予防活動の育成・支援（地域の通いの場の充実））	60	＜住民主体の地域の通いの場(1)～(3)の目標　その1＞ [補足(通いの場)] (1)トコろん元気百歳体操 (2)お達者倶楽部 (3)その他の地域の通いの場	住民主体の地域の通いの場の数	120か所	120か所	【内訳】 ・トコろん元気百歳体操 71か所 ・お達者倶楽部 42か所 ・地域サロン 7か所	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防に資する住民主体の通いの場への参加数の項目で目標未達成となったが、可能な範囲で活動を継続できるよう支援を行った。
		60	＜住民主体の地域の通いの場(1)～(3)の目標　その2＞ [補足(通いの場)] (1)トコろん元気百歳体操 (2)お達者倶楽部 (3)その他の地域の通いの場	介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の参加数	5,700人	5,210人	(内訳) ・トコろん元気百歳体操 71か所　1,473人 ・お達者倶楽部42か所 736人 ・地域サロン7か所　78人 ・その他包括が把握している通いの場 2,923人		

○・・・達成　　△・・・一部未達成　　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
3	介護予防・健康づくりの取組（高齢者の健康に関する取組）	64	＜健康に関する相談窓口等の周知、体制の推進の目標＞	随時対応による相談件数（65歳以上）	900件	556件	健康相談窓口を周知するチラシ「ご相談は保健センターへ」を関係機関を通じて配布したことに加え、健康相談事業に関するところざわほっとメールを10月に配信した。	○	健康相談件数は昨年度より60件増加しているが、目標値との乖離あり。引き続き気軽に相談できる窓口であることを周知していく。 健康食教室の参加者募集人数は、新型コロナウイルス感染症対策として当初の予定より減らして、前期、後期の2回実施した。また、調理実習が伴った教室であることや、コース制により修了証を発行することで、新規の参加者が増加した。なお、令和5年度も感染対策のため募集人数を減らしているが、引き続きコース制にし、参加者の行動変容がよりできるように取り組んでいく。
		65	＜食を通じた健康づくりについての取組の目標＞	介護予防栄養教室の参加者数	245人	179人	高齢者のフレイル予防を目的とした「楽して健康食教室5回コース」を年2回実施した。		
		66	＜特定健康診査の受診率向上に関する目標＞	特定健康診査の受診率	58%	32.2% ※暫定値（R5.3.28現在）	受診勧奨ハガキ 1回目46,160通（9/30） 2回目36,324通（12/23） 受診勧奨通知 4,018通（12/15）		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
3（続き）	介護予防・健康づくりの取組（高齢者の健康に関する取組）（続き）	67	＜後期高齢者健康診査の受診者数向上に関する目標＞	後期高齢者健康診査の受診者数	15,400人	14,020人 ※暫定値	5月27日に対象者46,875人に受診券を発送した。	○	マイレージ事業参加者の平均歩数については、新型コロナウイルス感染症による出歩きの減少の影響もあったが、歩数増加への取り組みもあり、昨年度（7,029歩）よりも増加している。 なお、埼玉県が令和6年度に、現行マイレージ事業から新アプリによる新事業への移行を予定しており、本市のマイレージ事業も見直しを予定しているが、今後も引き続き、免疫力向上等のメリットを周知しながら、平均歩数の増加のためのPRに取り組んでいく。
		67	＜健康への関心が低い人へもアプローチする仕組みづくりの推進の目標＞	健康マイレージ事業参加者の1日平均歩数	8,000歩	7,201歩	・参加申込者数は令和5年3月末時点で13,798人（令和4年3月末時点の10,752人から3,046人増加）であり、県内1位の申込者数となった。 ・広報ところざわ5月号で事業の周知を行ったほか、各まちづくりセンター等でチラシの配布やポスター掲示により、周知を行った。 ・令和4年12月を「ウォーキング促進強化月間」とし、12月中の平均歩数が8,000歩を超える等、一定条件を満たす参加者に景品を提供する事業を実施した。		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
4	いきがいづくり・社会参加の促進	69	＜学びを通じたいきがいづくり（高齢者大学の開講）の目標＞ →令和4年度から「高齢者大学」が「所沢シニア・アカデミー」にリニューアルしたことから、指標を変更した。（令和4年度第3回高齢者福祉計画推進会議にて報告）	講座を通し今後につながる地域活動を「見つけることができた」または「見つける方法がわかった」と回答した受講生の割合	90%	70%	閉講後アンケートに回答した30名のうち、21名が今後につながる地域活動を「見つけることができた」または「見つける方法がわかった」と回答。 R4年度参加人数 開講時点：44名 修了時点：39名	△	シニア・アカデミーは令和4年度に既存の事業である高齢者大学の内容を見直したもので、今後、受講生に積極的に呼びかけを行いながら地域活動への貢献につなげていきたい。 単位長生クラブ数の減少については、高齢化による役員のなり手不足等の要因がある。
		70	＜スポーツ・文化活動の支援の目標＞	高齢者スポーツ大会参加者数	1,000人	－	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止となった。		
		73	＜長生クラブの活動支援の目標＞	単位長生クラブ数の維持	64団体	60団体	会員数 3,287人		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
5	在宅で安心して暮らし続けるための取組（緊急時に備えた支援体制）	86	＜救急医療情報キットの配布の目標＞	救急医療情報キットの累計配布本数	17,240本	17,352本	【参考】 累計配布本数 令和元年度：15,140本 令和2年度：15,502本 令和3年度：16,605本	○	市役所本庁やまちづくりセンター、地域包括支援センターほか老人福祉センター・老人憩の家での配布数が伸びた。
6	認知症と共生する社会の実現に向けた取組の推進	90	＜認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進の目標＞	認知症初期集中支援チームの訪問支援実人数	40人	53人	初回訪問実人数を計上。	△	新型コロナウイルス感染症の影響下において孤立化が懸念される中、積極的な訪問支援が行われた。 今後も認知症高齢者は増加していくことが予想され、新型コロナウイルス感染症の影響下においても感染予防対策を講じながら可能な限り開催し、前年度より受講者数をわずかながら増やすことができた。認知症への正しい理解を促進し、認知症になったとしても住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けられる地域づくりが求められる。
		94	＜認知症サポーターの養成と活動の支援の目標＞	認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）	30,500人	26,154人	開催回数38回 受講者数1,280人		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
7	在宅医療・介護連携の推進	98	＜在宅医療・介護連携の推進の目標　その1＞	在宅療養に関する情報を周知する件数	3,000件	15,204件	（内訳） ・パンフレット等配布部数7,869部 ・HP閲覧件数7,005件 ・動画セミナー視聴件数231件 ・市民向け講演会参加者数99名	○	各指標において目標達成となった。 特に、「在宅療養に関する情報を周知する件数」に関しては、令和3年度に作成したパンフレット「知っておきたい在宅療養」を使った普及啓発や、市民を対象にした講演会を通し、多くの方への周知ができた。 令和5年度は、多職種の方がよりスムーズに連携ができるよう、絆ネットところをはじめとした連携ツールの利用促進や改善、仕組み作りの検討を進めていく。
		100	＜在宅医療・介護連携の推進の目標　その2＞	絆ネットところ活用件数	13,000件	16,547件	多職種間の情報共有ツール「絆ネットところ」の投稿数 16,547件		

○・・・達成　　△・・・一部未達成　　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
8	地域の課題を解決するための体制づくり	126	＜生活支援コーディネーター・協議体の目標　その1＞	第1層と第2層の情報共有のための会議開催回数	6回	6回	第1層・第2層生活支援コーディネーターの情報交換会を隔月で6回実施	△	生活支援コーディネーターの会議については、予定通り実施し、日々の業務での困りごとや有用な情報、アイデアを共有した。 社会資源については、年間増加数として目標としていた14件を上回る67件となった。しかし、令和3年度末の実績が773件であったこともあり、令和4年度の目標達成には至らなかったことから、自己評価を△としたものである。 令和4年度は、高齢者の情報格差への対応や地域のつながりづくりのためにスマホ教室等を展開したほか、生活支援コーディネーターの活動を紹介する動画を3本作成して取組の周知を行ったところであり、引き続き既存団体の支援や新たな社会資源の把握・創出に努めたい。
		126	＜生活支援コーディネーター・協議体の目標　その2＞	生活支援コーディネーターや協議体の活動を通じて把握する地域における社会資源の数	849件	840件	6月～12月に把握済みの社会資源の現状把握・情報の更新作業を実施 年間を通し、新たな地域資源の発掘・団体支援を実施		

○・・・達成　　△・・・一部未達成　　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
9	介護保険制度の安定的な運営（介護給付適正化の取組）	160	要介護認定の適正化	点検実施率	100%	100%	市調査員及び事務受託法人の調査分については自己点検を全件行い、市内居宅事業所及び他市委託事業所の調査分について市が全件を点検した。	○	要介護認定の適正化については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための特例措置に基づき更新申請は調査を実施せず期間を合算する事例もあり（令和5年2月末で総申請数14,003件中1,215件）、目標を達成できた。 ケアプラン点検については、達成率140%となった。 住宅改修等の点検については目標を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個人宅への立ち入りや利用者との接触を控えたためで止むを得ないものと考えている。
		160	ケアプランの点検	点検対象事業所	5事業所	7事業所	点検希望の申出があった2事業所を追加し、計7事業所の点検を実施した。		
		161	住宅改修等の点検	点検件数	4件	1件	上半期は新型コロナ感染症の発生等の影響を受けて点検を中止したが、下半期において住宅改修1件の点検を実施した。		

○・・・達成　　△・・・一部未達成　　×・・・未達成

第８期計画の進捗評価表（令和４年度）

	施策	計画書該当頁	評価項目	指標	令和4年度目標	令和4年度実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る自己評価	
9（続き）	介護保険制度の安定的な運営（介護給付適正化の取組）（続き）	161	医療情報との突合・縦覧点検	点検件数	5,200件	4,537件	国保連から毎月送付されたデータについて、全件の点検を実施した。	○	医療情報との突合・縦覧点検についても目標に達していないが、実績件数が目標に達しなかったものであり、点検は全件実施している。 介護給付費通知については、概ね目標の件数を発送できた。
		161	介護給付費通知	通知件数	20,000件	18,905件	年2回発送しており、第1回目を令和4年4月に9,369件、第2回目を令和4年10月に9,536件発送した。		

○・・・達成　△・・・一部未達成　×・・・未達成